

流体科学研究所 博士前期課程学生海外発表促進プログラム 報告書

報告日：2019年11月12日

申請者氏名・所属・学年：小柳秀太・伝熱制御研究分野・修士2年



指導教員名：小宮敦樹

同行教員名：小宮敦樹

国際会議名：The 30th International Symposium of Transport Phenomenon (ISTP30)

出張先と旅行日程

出張先：ハノイ（ベトナム）

旅行日程：10/30~11/5

発表タイトルと著者

タイトル：Novel Measurement Method of Total Emissivity by using Guarded Hot Plate Method

著者：Shuta Koyanagi, Junnosuke Okajima, Shigenao Maruyama, Atsuki Komiya

1. 研究発表の内容

保護熱板法を用いた全放射率の新しい計測手法を提案し、さらに数値計算および実験による本計測手法の妥当性を検証した研究について発表を行った。

2. 今回の出張・発表で学んだこと

シンポジウムでは質疑に対して英語で完璧に回答できず、英語でのディスカッションの難しさを学んだ。その質疑で、実験結果の不確かさや計測誤差が与える影響についての質問があり、今後様々な試料および条件で検証・評価を行う必要があると感じた。

3. 本プログラムへの提案・感想

本プログラムで初めて国際学会に参加し、国内学会とは違った雰囲気を感じた。その中での発表を通して非常に良い経験ができ感謝している。来年以降も多くの学生が本プログラムを通して貴重な経験を得ることができればと思う。

4. 指導教員所見

小柳秀太君は、今回が初めての国際会議参加であり、口頭発表が滞りなく行えるよう入念な事前準備を行い、無事に発表を終えることができた。質疑応答では一部回答に戸惑う部分もあったが、総じて本派遣プログラムの意義を十分に理解した上での参加ができたという判断できる。

